

「厚生労働大臣と全国知事会との意見交換会」について

1 第3回会議の概要

(1) 日 時 平成20年4月23日(水) 19:20~20:20

(2) 場 所 厚生労働省9階 省議室

(3) 出席者

○厚生労働省 舛添厚生労働大臣

○全国知事会 神田愛知県知事(社会文教常任委員会委員長)

泉田新潟県知事

堂本千葉県知事

荒井奈良県知事(社会文教常任委員会委員)

尾崎高知県知事

(4) 議題と主な議論

○今後の障害者自立支援について

- ・現場の裁量の拡大、国と地方の連携・協働の強化
- ・障害者年金の引き上げや所得保障の検討
- ・施設職員の待遇改善による人材確保
- ・精神障害者の退院促進の課題(現行の診療報酬は不十分。また、退院には、精神科の訪問看護、クライシスハウスの制度化等が必要。)
- ・中山間地域におけるサービス確保(職員配置や最低定員の規制緩和が必要。)
- ・発達障害者の支援強化(手帳制度の適用、障害についての啓発強化)
- ・重症心身障害者の地域移行における医療的ケアの必要性
- ・ケアホームやグループホームの施設整備費補助制度の改善

○事務レベルの定期協議の提案(大臣)

- ・国と都道府県、市町村との事務レベルの不断の意見交換が必要という出席知事の発言を受け、企画立案段階から都道府県の意見を聴く会議を、次官、総括審議官クラスとそれに対応する各都道府県の県政全体の分かる人との、定期的に関くよう制度化してはどうか。(7月28日開催予定)

○医療監察法の指定医療機関の整備に関する協力依頼(大臣)

- ・心神喪失等で重大な他害行為を行った者に対する制度として、医療監察法が施行されているが、指定医療機関の病床整備が不足している。都道府県立精神科病院の精神科病棟を改装して指定入院医療機関としての病床確保に着手していただきたく、お願いしたい。
- ・各地での事例の紹介や障害者に対する差別をなくすことが重要。また、都道府県立病院精神科の全体計画との調整が重要。(各知事)

2 第4回については厚生労働省と協議中